

アフリカの食糧問題解決に向けたイネ研究国際展開 ～ケニアにおける研究拠点の形成と活用～

- 日時：2018年9月3日（月）14:00～16:30
- 場所：名古屋大学農学部 第3講義室

名古屋大学農学国際教育研究センターは、名古屋大学大学院生命農学研究科、名古屋大学生物機能開発利用研究センターならびに学外の研究機関と連携し、ケニアを拠点にアフリカの稲作生産性向上に向けた国際共同研究に取り組んでいます。2013年5月～2018年5月に実施したJST・JICA地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム（SATREPS）による「テーラーメイド育種と栽培技術開発のための稲作研究プロジェクト」においては、イネ品種の特性評価とイネの交配を大量に行うための施設・設備を整備し、ケニア農畜産業研究機構ムエア支所に研究拠点を構築しました。また、生物機能開発利用研究センターが中心となって実施しているWISHプロジェクトとの連携により、現地環境ストレスに対応した有用遺伝子を持つイネ系統をDNAマーカー利用により開発してきました。本セミナーでは、上記の取り組みに関するこれまでの成果を報告するとともに、理化学研究所との連携による新たな取り組みと、その展望について紹介します。

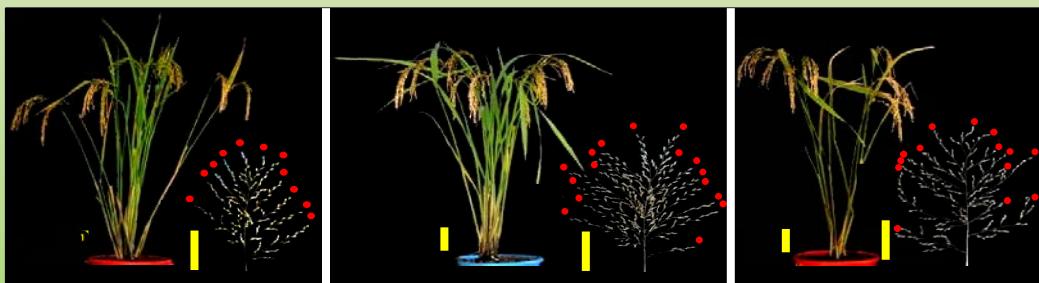


● 講演

榎原 大悟（名古屋大学農学国際教育研究センター・准教授）
ケニアにおける国際共同研究と研究拠点の構築

芦苅 基行（名古屋大学生物機能開発利用研究センター・教授）
植物基礎研究の応用展開

神原 均（名古屋大学大学院生命農学研究科・教授）
理研－名大科学技術ハブ構想



【参加申込・お問い合わせ】

名古屋大学農学国際教育研究センター

Tel: 052-789-4225, Fax: 052-789-4222,

e-Mail: icrea@agr.nagoya-u.ac.jp

URL: <https://icrea.agr.nagoya-u.ac.jp/>

主催：名古屋大学農学国際教育研究センター

共催：名古屋大学大学院生命農学研究科

名古屋大学生物機能開発利用研究センター